

令和6年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立東神吉こども園
------	--------------

1 教育目標	「わくわく心 いきいき体」
---------------	---------------

2 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心身を育む。 ・いろいろな人と関わる喜びを感じ、信頼感を育てる。 ・身近な自然とふれあい、好奇心や探求心を育む。 ・どんなことにも挑戦し、やろうという意欲を育てる。
---------------	---

3 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付ける。 ・身近な自然に親しみをもつ。 ・自分らしさをのびのびと表現する。 ・友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう。 ・最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ。
---------------	--

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活の仕方を知る。 ・自ら進んで挨拶をする。 ・衣服の着脱、手洗い、うがいなど身の回りのことを自分でしようとする。 ・苦手なものでも食べてみようとする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時の挨拶を交わす際、自ら挨拶をする姿が少なく子ども達に意識できるように各クラスで声をかける機会をつくるなど職員も意識することで積極的に挨拶する姿が見られる。今後も継続していきたい。 ・発達年齢に応じた生活習慣が身につく指導が必要と感じるが個人差も大きく、家庭との連携を図りながら自立支援を支えていく。 ・苦手な物も食べてみようと思えるように、野菜を栽培したり栄養や自分の体について知る機会を増やしたりする。苦手なメニューも、「一口は食べてみる」という意識が芽生え、摂取量も増えてきた。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・来園すると元気に挨拶をしてくれる姿が見られ、園での取り組みが習慣づいていると感じる。 ・各クラスの子ども達の様子を見て活気があり、活発な子ども達の姿に元気づけられた。 ・基本的な生活習慣は家庭での指導も必要。家庭との連携も大切に進めてほしい。 	A

<p>友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢中になって力いっぱい元気に遊ぶ。 ・いろいろな遊びや興味や関心をもち主体的に物事にに関わり活動する。 ・友達との関わりを通して、互いの思いや考えに気付く。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に遊びこむ環境づくりを心がけ、援助や環境構成を職員間で連携を図りながら育ちを支えていく。 ・子ども園ウィークは異年齢の関わりを意識して取り組み、全園児がお店屋さんごっこを楽しんだ。 ・異年齢との関わりが定着するように、来年度からはなかよしグループを取り入れ交流をもつ機会つくっていく。 ・自分の思いばかりを主張するのではなく、相手の思いにも寄り添えるような関わり方を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性を学ぶ初めての場所である。様々な人との関わりの中で相手のことを思いやることのできる機会をもち、人を思いやることのできる芽を育ててほしい。 ・様々な立場で関わる教師がいるが、子どもの内面理解をしっかりと行い、一人一人の思いに寄り添い、子どもの心の思いに気付いて支えていけるように教師間の連携を深めてもらいたい。 	<p>B</p>
<p>身近な自然に親しみをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然に触れ、それを使って遊んだり興味や関心を広げたりする。 ・自然の不思議さを感じ、調べたり確かめたりする。 ・生きものと遊んだり、世話をしたりする中で生命の尊さに気付く。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東神吉小学校での校庭遊び、西神吉幼稚園の交流、また地域の畑や公園への散策など園外に出かける機会を積極的にもち、自然に触れての発見や感動体験を味わえた。今後も安全管理を図り、自然に触れる環境づくりを心がけたい。 ・季節の花や野菜を栽培し、育て、収穫することができた。毎日の世話から花や野菜の生長を注意深く観察したり調べようとしたりする力が育った。 ・畑を増設したり、種や苗を用意したり環境づくりを職員間でも意識を高めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に環境づくりを行ったり、自然に触れる機会をもとと園外に出かけたりしていることが子ども達の心の育ちにつながっている。今後も続けて取り組んでほしい。 	<p>A</p>
<p>最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの目標に向かっていろいろな遊びに挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。 ・難しいと感じることで自分なりに考えたり、工夫したりして取り組み、満足感や達成感を味わう。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹馬やパカポコに何度も挑戦する姿を最後まで励まし、気持ちに寄り添うように努めた事でできた喜びや達成感を味わう経験に繋がった。 ・意欲や自信につながる言葉かけや環境構成を図りながら消極的であったり諦めたりするこどもの意欲を高めることにつなげてきた。 ・個人差が大きく、気持ちが続きにくい幼児もおり、一人一人の発達段階に適した関わり方が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの年齢に添った教材を使用したり、遊びの環境づくりができており、各クラスのこども達が無理なく楽しんで取り組んでいる。 ・最後まであきらめないでやり抜くためには、一人一人のこども達に適した声かけが必要である。引き続きやってみようと思える声かけを工夫してほしい。 	<p>A</p>
<p>自分らしさをのびのびと表現する力を培う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の中で様々な人や身近な自然との関りから感じたことや、考えたことを伝えたりして自分の気持ちを素直に表現する。 ・心を動かす出来事にふれ、友達に伝えたいと感じたり、表現したりする喜びを味わう。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを自分なりに言葉や身振りで伝えようとする姿を認めることで、友達同士で表現する過程を楽しんだり、喜びを味わったりする様子が見られるようになった。今後も自分の思いを相手に伝えようとする意欲をもてるよう支えていきたい。 ・子ども同士の話し合いや行事に向けての取り組みの中で、友達の考えにも気付く経験をした。自分の思いを通すのではなく、友達の考えに気付き、相手の良さを認めていくことで関りを深め、遊びを広げる喜びを感じるきっかけになっている。 ・幼児が興味をもって様々な表現活動に自信をもって取り組めるよう心弾ませる環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心を動かす感動体験をするには実際に触れたり、経験したりできる環境が大切。また、一人一人の感じ方も様々であるため、じっと見ることができるよう時間の確保も必要と思われる。気づいたり、感じたりすることが豊かな感性を育み、人格形成の基礎となる。こども園での活動が大切な機会であることを認識し、こども達に向き合ってもらいたい。 	<p>A</p>